神の国は近くなった

福音を信じなさい

マルコの福音書1:14～20

1:14 ヨハネが捕えられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。
1:15 「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」
1:16 ガリラヤ湖のほとりを通られると、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。
1:17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」
1:18 すると、すぐに、彼らは網を捨て置いて従った。
1:19 また少し行かれると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネをご覧になった。彼らも舟の中で網を繕っていた。
1:20 すぐに、イエスがお呼びになった。すると彼らは父ゼベダイを雇い人たちといっしょに舟に残して、イエスについて行った。

「神の国」とは

「神の国」とは「**神さまの影響が色濃い時間や空間**」ということができます。

聖書の一貫したテーマは「神の国」の建設

「悔い改めなさい。**天の御国**は近づいた」と言われました。（マタイ4:17）
「時が満ち、**神の国**は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」（マルコ1:15）
「**神の国**とその義を第一に求めなさい。」
（マタイ6:33）

バシレイア

「天の御国」「神の国」「御国」・・日本語ではみな違った表現をしているが、原語のギリシャ語も英語もひとつの言葉です。

ギリシャ語では**「バシレイア」**（βασιλεια）英語では**「キングダム」**（Kingdom）という言葉です。

「キングダム」とは「王国」という意味。聖書の言う天国というのは、王国のことです。

「神の国」完成までのシナリオ

1．**イエスの天の御国到来の宣言**
2．イエスの十字架と復活の出来事
3．聖霊降臨と教会の始まり
4．**教会による福音宣教の時代**
5．教会の携挙と７年間の艱難時代
5．キリストの地上再臨と千年王国
6．白い御座の裁き（最後の審判）
7．**神の国の完成としての新天新地**

終わりの時代

神の国は、イエス・キリストの到来とともにすでに始まっています。神の御国の建設のシナリオにおいて、ぐっと完成が近づいたということです。

つまり、最終段階がはじまったという宣言—それが**「天の御国は近づいた」**という意味です。

聖書はこの最終段階のことを**「終わりの時代」**と言っています。つまり、新約聖書に記されていることは**「終わりの時代」**に関することなのです。

神の国は、あなたがたのただ中に

さて、神の国はいつ来るのか、とパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは答えて言われた。「神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません。
『そら、ここにある。』とか、『あそこにある。』とか言えるようなものではありません。いいですか。**神の国は、あなたがたのただ中に**あるのです。」（ルカ17:20-21）

神の国と神の義

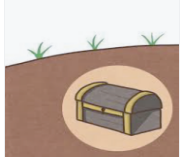
だから、**神の国とその義とをまず第一に求めなさい。**そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。（マタイ6:33）

「神の義」とは神の正しさです。「神の義」を得るのに、誰しも自分自身の良い行いによって受け取ることは決して出来ません。

「神の義」は、**ただ信仰によって**得ることが出来ます。**自分自身を罪ある者と認め、キリストが私の罪の身代わりとなって死なれ、葬られ、よみがえられたことを信じ、「私の罪を赦してください。今、あなたの愛と、永遠のいのちを受けとります」とイエスの名で祈る**時、あなたの魂は救われ**「神の義」**を得ることが出来ます。同時に**「神の国」**があなたの心に拡がるのです。

畑に隠された宝
偶然に見つけた天の御国

天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。（マタイ13:44）



良い真珠を捜している商人
天の御国を捜し求めている人

また、**天の御国は、良い真珠を捜している商人のようなもの**です。

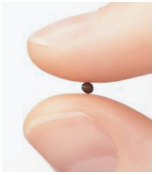
すばらしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。（マタイ13:45-46）

前者は偶然に見え、後者は努力の賜物に見えますが、**すべては神の導き**によるのです。

神の国は飲み食いのことではなく、**義と平和と聖霊による喜び**だからです。（ローマ14:17）

からし種　爆発的成長力

イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「**天の御国は、からし種のようなもの**です。それを取って、畑に蒔くと、どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」（マタイ13:31-32）



からしだねの木

キリスト教会は、2千年前の五旬節（ユダヤの祭り）の日にエルサレムに集まった百二十人ほどの弟子たちに聖霊が臨まれた時に誕生しました。

弟子たちは、聖霊によって力を受け、「エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで（使徒1:8）」キリストの証人となって出て行ったその結果、全世界に福音が宣べ伝えられ、**「神の国」**が拡大していったのです。

良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは**百倍**、あるものは**六十倍**、あるものは**三十倍**の実を結びます。

（マタイ13:18～22）